平成 23 年 7 月 26 日

各　　位

会 社 名 アドアーズ株式会社
代表社名 代表取締役会長　藤澤　信義
（JASDAQ・コード番号　4712）
問合せ先　取 締 役　　沖　聡
（TEL.　03－5623－1115）

特別利益の発生ならびに平成 24 年 3 月期第 2 四半期累計期間及び通期業績予想（非連結）の修正に関するお知らせ

当社は平成 24 年 3 月期の決算におきまして、下記の通り特別利益を計上することと致しましたので、お知らせいたします。

またこれに伴い、平成 23 年 5 月 12 日付「平成 23 年 3 月期決算短信（非連結）」にて発表いたしました平成 24 年 3 月期（平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日）の業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1、特別利益の発生の背景および内容について

当社は、未曾有の震災がもたらした先行き不透明の国内経済市況に加え、当業界自体も淘汰再編の厳しい事業環境が続くものと見込まれる中、業界としてまた当社として、これまでの常識にとらわれない変革を一層推進することが経営の最重要課題であると認識しております。

こうした中、平成 23 年 5 月 24 日付「代表取締役の異動ならびに役員・監査役の異動に関するお知らせ」のとおり、様々な事業会社の経営・再生の実績を有する藤澤信義を新代表とした経営体制の改革・強化を図った他、同日付「第三者割当による新株式発行および主要株主である筆頭株主の異動に関するお知らせ」のとおり、株式会社ネクストジャパンホールディングス（東京証券取引所マザーズ 2409）を引受先とした第三者割当増資を実施し、財務面においても経営体質の強化を図っております。

この変革を更に推進すべく、人財の育成・活用を通じて当社の企業競争力を高めることを目的に、本年 7 月より当社従業員の人事制度を、「より社員の業務成績を賃金に反映させようとする考え」ならびに「時間で仕事をしない職場風土の構築という考え（成果主義）」の基、年俸制へと切り替え致しました。

今般、この人事制度の変更に伴い、旧人事制度として積み立てていた賞与積立金等 167 百万円を取り崩し、第 1 四半期にて特別利益として計上することと致します。

2、業績予想の修正について

1). 平成 24 年 3 月期第 2 四半期累計期間の業績予想数値の修正

（平成 23 年 4 月 1 日～平成 23 年 9 月 30 日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益
前回修正予想（A）	12,500	500	400	250
今回修正予想（B）	12,500	500	400	420
増減額（B－A）	0	0	0	170
増減率〔(B)－(A)〕/(A)	－	－	－	68.0%

※ご参考　平成 23 年 3 月期 第 2 四半期累計期間実績(前期)	12,640	575	468	185

2). 平成 24 年 3 月期通期業績予想数値の修正(平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日)

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
期初予想（A）	24,000	900	700	450
今回修正予想（B）	24,000	900	700	620
増減額（B－A）	0	0	0	170
増減率〔(B)－(A)〕/(A)	－	－	－	37.8%

※ご参考 平成 23 年 3 月期実績（前期）	25,945	263	74	△4,197

3). 修正理由

当期の業績につきましては、主力事業であるアミューズメント施設運営事業におきましては、お客様の満足度を維持しながら電力供給不足等の外部環境・社会要請にも呼応できる運営体制の構築を進めている傍ら、前述のとおり新経営体制のもと、人事制度をはじめとした社内変革と徹底した各種コスト削減・合理化策を推進しており、現時点において売上・利益ともに堅調に推移しております。

しかしながら、はじまったばかりの今夏状況の折、また今後の電力需給動向を鑑みた場合、未だ先行きを楽観視できる状況では無く、売上高・営業利益・経常利益につきましては据置とし、前述の賞与引当金等の取り崩しによる特別利益計上のみを業績予想に反映することと致します。

※ 上記の予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が合理的と判断したものです。実際の業績は様々な要因の変化により、予想とは異なる可能性があります。なお当社の平成 24 年 3 月期の第 1 四半期累計期間の決算短信（非連結）は平成 23 年 8 月 9 日を開示予定としております。

以　上